

AFMウェビナーのご案内 AFMを用いた異物位置 ローカリゼーション

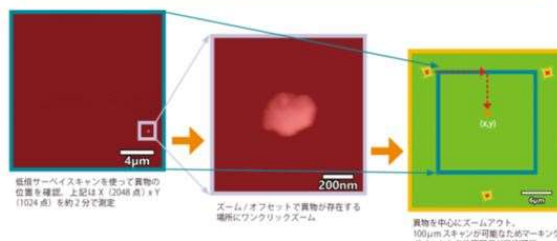
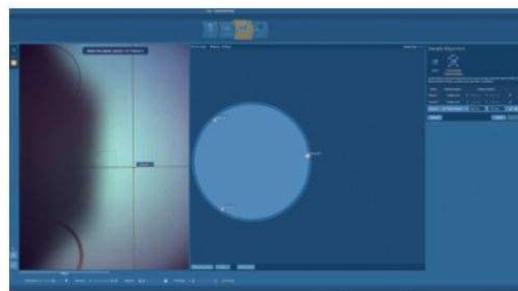
半導体分野において清浄度管理は重要ですが技術の進歩と共に対象とされる異物サイズは小さくなりSEM/EDS法では難しくなっています。そのためTEM/EDS による解析法が注目されていますが、効率良く行うには異物の位置を迅速かつ正確に把握するローカリゼーションが極めて重要です。本ウェビナーでは、この課題を解決するために最適なAFMと、それを実現するために必要な最新AFM技術についてご紹介します。

- ウェビナー名： AFMを用いた異物位置 ローカリゼーション
- 日時： 2021年10月1日（金） 16：00～16：30
- 講師： アプリケーション・サイエンティスト 谷口 幸範
- 参加費： 無料
- お申込み： 下記URLをクリックしてお申込みください

> [ウェビナーへのお申込みはこちら](#)



Jupiter XR 型 AFM システム



低倍率サーベイスキニングによって異物の位置を確認。走査は約 1200k 点 x 1kY (1024 点) を約 2 分で測定

ズーム/オフセットで異物が存在する場所にワンクリックズーム

異物を中心にズームアウト。100µm スキャンが可能なためターゲットポイントとの位置関係が特定可能

※ご参加いただく環境等により、ウェビナーをご覧いただけない場合もございます。予めご了承ください。
※事前に[システム要件をご確認](#)いただき、接続テスト等を行われますことをお勧めいたします。

[新型コロナウイルスに対する当社の対応について](#)
[オックスフォード・インストゥルメンツ 最新ニュース](#)

さらに詳しい情報については下記までお問い合わせください。

オックスフォード・インストゥルメンツ株式会社

アサイラム・リサーチ事業部

Tel: +81 (0) 3-6630-4595

Email: sales.asylum.jp@oxinst.com

アサイラム・リサーチ事業部 専用ウェブサイト: AFM.oxinst.jp

本メール配信に関するお問い合わせ info.jp@oxinst.com

オックスフォード・インストゥルメンツ株式会社 マーケティング・コミュニケーションズ

アサイラム・リサーチ事業部について

アサイラム・リサーチ事業部は、AFMが世界中に普及した1990年代後半に、“世界最高のAFMを開発する”ことをめざした革新的なサイエンティストにより創設されました。

その独自技術であるblueDrive™は、光熱効果によるカンチレバーの直接励振技術であり、これを利用したタッピングモードAFMでは、0.3nm(Ra)と極小の粗さを有する基板を、通常の10倍以上もの速度でスキャンできます。また15時間、1000回測定しても、測定値の標準偏差が1%以内という驚異の安定性・再現性を実現しています。

© Copyright 2021 Oxford Instruments.

本メールの無断転載を禁止します

E-mailの配信停止を希望される方は、[こちら](#)をクリックしてください。

プライバシーポリシーは、[こちら](#)をご覧ください。